

県立新潟よつば学園

令和5年度 第1回進路セミナー

～卒業後の就職・福祉サービス利用に向けて～



令和5年4月28日(金)

14:45～15:30

進路指導主事

熊倉 優幸



最初に

県内の特別支援学校の進路指導を
取り巻く課題

高等部の進路指導の目標

様々な人々との豊かな関わり

教師や友達、保護者

他部門の生徒
地域の方々

強み、
苦手

適切な自己理解・意欲的な姿勢

自分で切り開
こうとする姿勢

具体的な
目標

確かな進路の
自己選択・自己決定

安定して過ご
せる場所

より確かな自己選択・自己決定のために

- ①望む、考える
- ②見る、聞く、知る
- ③試す、振り返る
- ④選ぶ、決める





①望む、考える

- ・現在の本人の進路希望（将来の夢）を確認してください。
- ・本人の興味・関心、強みや支援が必要なことを答えられるようにしてください。
- ・可能なら「就職」「福祉サービス利用」「進学」など大まかに分けて考えてみてください。



【卒業後の進路の種別】



① **福祉サービス利用** (福祉施設に通う)

県内の特別支援学校卒業生の7～8割

② **企業就労** (会社や店舗でパート社員などで働く)

県内の特別支援学校卒業生の2～3割

③ **進学** (専門学校、大学などに通う)

④ **その他** (開業など)

【卒業後の進路の種別】

①福祉サービス利用

→働くことがメインのサービス

→生活全般を充実させていく

サービス



【卒業後の進路の種別】

①働くことがメインのサービス

→ 就労継続支援A型

施設と雇用契約を結び、最低賃金をいただきながら働き続けます。

→ 就労移行支援

近い将来の就職を目指して、施設内でトレーニングや作業を続けます。

→ 就労継続支援B型

施設の中で長く安定して仕事を続け、一定の工賃をいただきます。

【卒業後の進路の種別】

②生活全般を充実させるサービス

→ 自立訓練 (生活訓練、機能訓練)

地域で生活するために必要な身の回りのことなどを自分でできるようにします。

→ 生活介護

健康活動や作業活動、レクリエーションなどを一定したペースで行います。

→ 地域活動支援センター

地域との交流活動に取り組みレクや作業活動も行います。

「考える」きっかけとして

・全県の特別支援学校で

「進路希望調査」を行います。(5月以降)

・現在の進路希望について、書ける範囲で記入して提出してください。

・職場実習・校内実習が始まるまでお願いいたします。本人にも確認して記入してください。





ちなみに

- ・各部門の卒業生の進路先は別紙のとおりです。
参考に見てみてください。





②見る 聞く 知る

- ・高等部では進路に関わる授業が毎日のように行われています。(総合的な探求の時間、職業生活など)
- ・部門によっては、校内だけでなく、校外でも「職場体験」を行い、様々な仕事について体験的に学習します。



職場体験について①（自立教育部門）



- ・全員が校外での職場体験に出かけます。
- ・普段できない仕事の経験から自分の得意なこと、苦手なことがより明確になることを期待しています。地域の方とのコミュニケーションがスムーズに図れればなおよいでしょう。



職場体験について②（自立教育部門）

- ・職業生活のグループ（リゲル、デネブ、スピカ）ごとに、個人や集団で事業所に出かけます。
- ・週に1回（または2回）の午後の1時間程度仕事を体験してきます。
- ・2、3年生は今週から開始しました。1年生は9月から開始します。





職場体験について③

・今年度の職場体験先の紹介（グループ単位）

新潟地域振興局 竹尾庁舎（テネブ）	株式会社 ツクイ竹尾（リゲル）
協同組合 新潟卸センター（スピカ）	ナチュレ片山本店（リゲル）
株式会社 まる味食品（リゲル）	丸七商事株式会社（リゲル）
おむすびこども園（リゲル）	きぼう福祉園（スピカ）
みたけこども園（スピカ）	日の出交通株式会社（リゲル）
Kitchen HANA（リゲル）	木戸コミュニティセンター（テネブ）

今までの様子





保護者の方々には

- ・進路セミナー（年4回程度）で最新の進路情報をお伝えします。専門機関の方から、具体的な手続き等の説明を聞きます。

- ・例 東区役所福祉課職

 - ハローワーク新潟職員

 - 就業・生活支援センター職員 など



③ 試す、振り返る

- ・ 職場実習（2・3年生）6月、9月
学校を離れ、実際の現場での作業活動などに参加し、従業員や利用者の方と共に働きます。
- ・ 学校で学んだ作業、コミュニケーションの力を発揮し、自分の現在の力を確認します。

今年度の春季職場実習先（6月～7月）

- ・別紙をご覧ください。

今までの職場実習の様子



職場実習の最大のメリット

・外部の評価をいただけること

希望と実際のマッチングの度合いを測ることができる。



実習先に依頼をして「評価票」を記入していただきます。主に生活面と社会面から、現在どれだけできているかをチェックしていただきます。



校内実習 6月、9月（職場実習と同期間）

- ・職場実習を想定して、長時間（午前も午後も）作業などに取り組む生活を送ります。
- ・企業から委託された作業を体験します。
- ・他部門の生徒とも関わって行います。
- ・学年ごとに独自の作業を行う予定です。

今までの校内実習の様子



1年間の主な進路関係のスケジュール

- ・別紙資料をご覧ください。

学年ごとに主なものを載せました。今後変更の可能性もあります。

1年生の保護者の方々へ



【～5月10日】

どんな進路先があるか知ってください。

新潟市で毎年作成しているガイドブックの東区内の福祉事業所のページと主な事業所のパンフレットのコピーを用意しました。

【5月10日～12日】 個別面談

大まかな進路希望をお聞かせください。



2年生の保護者の方々へ①

- ・初めての職場実習が始まります。主な予定です
【～4月28日】

フェイスシート(実習生の情報をまとめたもの)をお配りします。確認をお願いします。

【5月8日(月)～26日(金)】

- ・担任がフェイスシートを持参して実習先に訪問します。実習について打ち合わせをします。

2年生の保護者の皆様へ②



【打ち合わせ終了後】

○打ち合わせの内容をまとめた書類をお渡ししますので、必要事項を記入しお返してください。

- ・実習要項—作業内容などが記載してあります。通勤に関して、交通手段や所要時間を正確に書いてください。
- ・実習覚書—実習先との契約書的なものです。内容を確認して署名と捺印をお願いします。

○通勤練習を確実にしておいてください。

【6月12日～6月30日】

職場実習開始 ※期間外の生徒は校内実習に参加します。



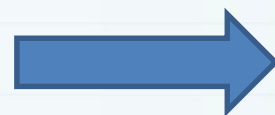
3年生の保護者の方々へ

- ・進路決定の具体的な手続きの時期に入ります。
- ・進路希望別に動きが違ってきます。
- ・外部機関との連絡、調整、相談などが出てきますので、ご協力をお願いします。



①就労継続支援B型利用希望の方 ～就労アセスメント～

一般企業、就労移行支援



就労継続支援B型

一般企業で就労したけどうまくいかなかった。移行支援を利用したけど就労につながらなかった、。



でも仕事はしていきたいな。ゆったり福祉サービスを受けながらだとおいしいな。

就労を継続するために利用するサービスが就労継続支援B型です。ということは就労経験のない特別支援学校卒業生は利用できないのでしょうか？

就労継続支援B型利用に向けて



特別支援学校

就労アセスメント

就労移行支援事業所を3日間だけ暫定的に利用して評価をいただく。

就労継続支援B型

就労経験はないけど
ゆったり仕事するために
利用したいな。



使えることになった。
よかった。

就労継続支援B型利用希望の方



- ・3年生の希望者の多くは今回の職場実習期間にアセスメントを受けることになっています。
- ・正規の実習とはまた別に実習のような活動を行うので負担感はあると思いますが、制度上必要なことなのでぜひ励ましてあげてください。



②生活介護利用希望の方

～障害程度区分認定～

- ・生活介護を利用するに当たっては、本人の障害程度区分を明らかにする必要があります。そのため在住の区役所で8月以降聞き取り調査を行うこととなります。
- ・障害程度6区分のうち、3以上の判定が出ないと利用ができません。
- ・市役所から案内が近々来ますのでその際にまたご案内します。



③企業就労希望の方

～求職登録～

- ・職場実習の評価などから確実に就職の方向で進むと決めた方は、求職登録をする必要があります。
- ・登録をすることで、今後の支援を受けやすくなり、企業が安心して雇用することができるようになります。
- ・8月中に学校を会場にして行う予定です。

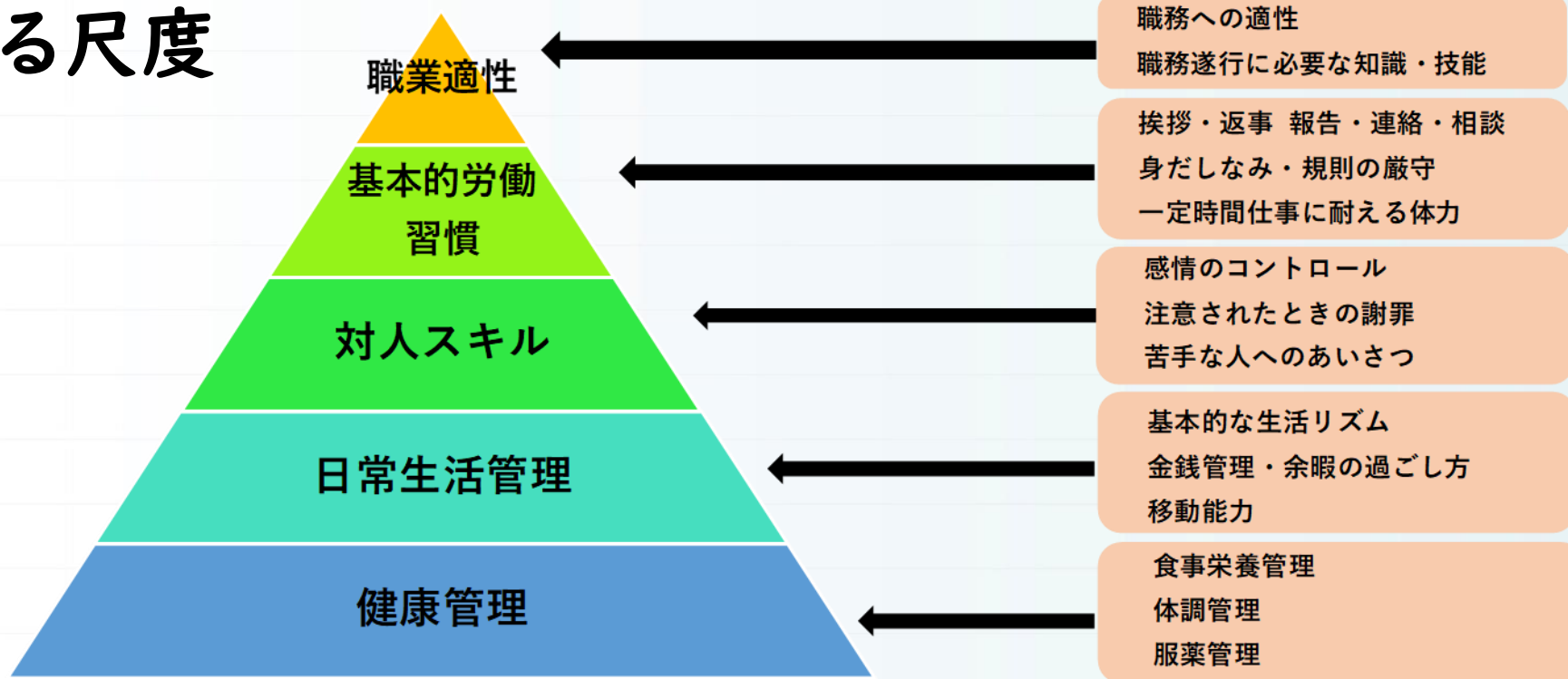
企業就労希望の方 ～全学年の保護者の方に～

- ・現在景気は後退していると言われていますが、慢性的な人手不足（少子化）は今後も続くと言われます。特に障がいのある方の法定雇用率は徐々に上昇しています。（3月に2.2%→2.3%へ）
- ・状況としては非常に就職しやすくなっていると言っていると思います。

企業就労希望の方 ~就職に必要な力を確認しましょう~

・職業準備性ピラミッド

本人が就職に向けた力がどれだけ育っているかを
知る尺度





④選ぶ、決める

・福祉サービス利用の場合

10月 秋季職場実習（希望する施設で）

11月 個別面談（希望する施設を第2希望まで）

12月 利用希望申請（在住区役所で）

1月 利用調整（新潟市）

2月 サービス利用（支給）決定通知受理

4月 利用開始



希望すれば確実に利用できるわけでは
ありません。

- ・希望が集中した場合には、第2希望に回っていた
だくケースもあります。
- ・希望する施設に空きがなければ、利用ができません。
⇒少しでも早く状況を把握するために、毎年「受
入調査」行っています。

④選ぶ、決める

企業就労の場合

10月 秋季職場実習（希望する企業で）

11月 個別面談（最終意思確認）

12月 採用のための職場実習（企業別）

1月 採用面接（企業担当者と本人）

2月 内定通知受理、支援機関登録

4月 勤務開始





希望すれば確実に就職できるわけでは
ありません。

- ・希望する会社に採用計画がなければいけません。
- ・実習を2回以上経験しておくことが大切です。
- ・面接での態度や採用後のフォローがしっかりしているかを見る企業もあります。
⇒個別に聞き取りを行っていきます。

どんな進路を選ぶとしても

○作業スキルは優先事項ではありません。

- ・働こうとする意欲（興味がある、収入を得たい）
- ・コミュニケーション（あいさつ・返事・報連相）
- ・健康な身体（休まない）と素直な心（嘘をつかない）





進路情報がより身近になるように

～進路サロンタイム～

毎回の進路セミナー終了後1時間程度進路指導室を会場に実施します。

【内容】

- ・進路指導部で購入した関連本や各種資料の紹介
 - ・一般的な進路に関わる内容についての相談
- ★興味のある方はぜひお立ち寄りください。



終わりに

次回の進路セミナー開催予定

6月22日(木) 14:00~14:45

- ・職場実習、校内実習期間中です。
- ・開始前に校内実習の様子もご覧ください。
- ・東区福祉課、ハローワーク新潟の職員の方から講義をいただきたいと考えています。

大勢のご参加をお待ちしています。